

平成27年度 事業報告

自 平成27年4月 1日

至 平成28年3月31日

<事業の概況>

公益財団法人盛岡地域地場産業振興センターは、盛岡地域の自然と歴史、伝統の中で育んできた地域の文化に由来する地場の産業振興を目的として、平成27年度は積極的に盛岡広域8市町と連携し、公益目的事業の核となる地場産品紹介普及啓発、体験学習、地場産品の資料展示や人材育成事業による後継者の育成など公益事業をいたしました。また、センターの運営安定を図るための収益事業としては南部鉄器協同組合やレストラン、自動販売機業者及び一般の方々へ施設賃貸を行った他、地域外で生産されている集客性の高い商品の販売も積極的に実施いたしました。その他、行政等の支援事業を活用した新商品の開発等も行い地場産業の普及啓発にも努め公益事業との連携を図りました。

1. 地場産業振興事業（公益事業）

盛岡広域生活圏内の地場産業振興のため、地場産品の普及啓発を図る地場産品紹介普及啓発事業、芸術的工芸品の振興を図り、後継者の確保へと結びつけていくことを目的とする体験学習事業、盛岡地域地場産品への理解向上と今後の地場産業振興発展を目的とする展示資料室運営事業等を公益事業として積極的に推進し、盛岡地域内の地場産業の振興を図った。

ア 地場産品紹介普及啓発事業

盛岡広域で生産される伝統的工芸品や民芸品、食品等の地場産品を県内外の消費者に広く紹介を行い普及啓発を図った他、展示即売室には広域8市町の逸品を紹介する「逸品コーナー」を設置した他、新たに盛岡市の友好都市であるうるま市の物産紹介コーナーも設置した。更にはインバウンド対策の一環として免税店を開設し、運用を開始した。

①展示即売事業

- ・盛岡広域逸品コーナーの設置

展示即売室内に「盛岡広域ベストセレクション」コーナーにおいて盛岡広域8市町の地場産品の紹介を行い、展示品の訴求力を高めた。

- ・うるま市友好都市交流コーナーの設置

盛岡市と友好都市・うるま市の特産品である「泡盛」を、盛岡で開催された沖縄県の物産展に合わせて展示紹介したほか、常設展示コーナーを新たに設置した。

- ・免税店の開設、運用開始

平成 28 年 2 月 22 日に開設し、運用を開始した。免税店許可手続きは平成 27 年 11 月 24 日に盛岡税務署へ申請し、12 月 3 日に許可を取得。手続き後、免税対応の POS レジの設置、外国人対応の電話通訳システムの導入を図ったほか、職員研修や旅行代理店、宿泊関係機関、報道機関へ情報提供し、利用の周知に努めた。

- ・ POS システムの更新及び免税手続き機能の導入を行った。
- ・ 展示即売室 POS システムの情報に基づき、各出展者に対して、販売状況や施設外での販売計画や概要について、情報の提供を毎月、定期的実施した。
- ・ 修学旅行生への情報提供と事前学習に対応するため「修学旅行お土産最適品リスト」を作成、お土産コーナーを設置した。
- ・ 「新商品・話題の商品コーナー」を設置した。
- ・ 「試食販売」を随時実施し、展示品の品質の良さ、特徴を説明し、実感してもらいながら展示品の普及に努めた。
- ・ 「お買い上げ感謝抽選会」を開催し、購買意欲の誘発に努めた。(5 月, 8 月, 10 月, 1 月, 2 月)

②物産展・展示会への出展

(全国センターへの出展)

- ・ 三重北勢地域地場産業振興センター (平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月)
- ・ 山口防府工芸地域地場産業振興センター (平成 27 年 4 月・11 月)
- ・ 「道の駅藤樹あどがわ」(平成 27 年 9 月 1 日～12 月 11 日)
- ・ 「文化祭バザー(広島県福山暁の星女子中学・高等学校)」(平成 27 年 9 月 10 日)
- ・ 今治地域地場産業振興センター (平成 27 年 10 月)
- ・ 山口防府工芸地域地場産業振興センター (平成 27 年 4 月・11 月)
- ・ ハーベストの丘 農産物直売所 (平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月)
- ・ 八戸地域地場産業振興センター (通年)

(県内各地物産展出展参加)

- ・ 岩電展示即売会 (平成 27 年 4 月 25 日～26 日)
- ・ 岩手テレビ朝日ゴエティフェスタ (平成 27 年 5 月 9 日～10 日)
- ・ 日本家政科学会全国大会 (平成 27 年 5 月 23 日～24 日)
- ・ 岩手うまいもん市 (平成 27 年 6 月 5 日～9 日)
- ・ 第 30 回岩手県保健推進委員等代表者協議会総会 (平成 27 年 6 月 18 日)
- ・ 理美容甲子園 2015 (平成 27 年 7 月 30 日)
- ・ 国体モリモリ博覧会 (平成 27 年 8 月)
- ・ 全国 P T A 連合会大会 (平成 27 年 8 月 19 日～21 日)
- ・ 岩電セレクション 2015 秋 (平成 27 年 10 月 3 日～4 日)
- ・ イオン盛岡ギフトコーナー (平成 27 年 11 月～12 月)
- ・ 統計大会 (平成 28 年 2 月 4 日)

- ・ゆきみらい 2016 (平成 28 年 2 月 9 日～10 日)
- ・ S-1 スイーツフェア (平成 28 年 2 月 20 日～21 日)

(県外各種物産展参加)

- ・いわて銀河プラザフェア (平成 27 年 7 月 21 日～24 日)
- ・函館グルメサーカス 2015 (平成 27 年 9 月 5 日～6 日)
- ・にぎわい創出イベントロコまるしぇ大宮東口 (平成 27 年 10 月 31 日)
- ・仙台モリハチまつり 2015 (平成 27 年 11 月 21 日～22 日)

(盛岡市主催催事への出展)

- ・東北六魂祭秋田 2015 (平成 27 年 5 月 30 日～31 日)
- ・東京都中核市フェア (平成 27 年 6 月 24 日～30 日)
- ・盛岡デー・イン・東京イオン板橋店会場 (平成 27 年 7 月 2 日～6 日)
- ・啄木学級「文の京講座」(平成 27 年 7 月 4 日)
- ・東京都庁「盛岡広域元気フェア」(平成 27 年 11 月 17 日～24 日)
- ・イオン琉球「盛岡デー・イン・沖縄」(平成 27 年 11 月 19 日～23 日)
- ・いわて銀河プラザ「もりおかの味覚まるごとフェア in 東京」
(平成 27 年 11 月 22 日～27 日)
- ・東京都文京区博覧会 (平成 27 年 11 月 27 日～28 日)
- ・盛岡・うるま友好の翼 うるま祭 (平成 27 年 12 月 19 日～20 日)
- ・さっぽろ東急みちのく盛岡の名品と観光展 (平成 28 年 1 月 13 日～20 日)
- ・八木橋デパートみちのく盛岡の名品と観光展 (平成 28 年 2 月 10 日～16 日)
- ・いわて国体リハーサル大会/カヌー (平成 27 年 6 月 20 日～21 日)
- ・いわて国体カウントダウンイベント (平成 27 年 7 月 12 日)
- ・いわて国体リハーサル大会テニス競技 (平成 27 年 7 月 24 日～26 日)
- ・いわて国体リハーサル大会/ライフル射撃 (平成 27 年 9 月 5 日～6 日)
- ・いわて国体リハーサル大会/サッカー (平成 27 年 10 月 17 日～21 日)
- ・いわて国体リハーサル大会/ボウリング (平成 27 年 11 月 5 日～8 日)
- ・いわて国体フィギュア大会 (平成 28 年 1 月 27 日～30 日)
- ・いわて国体スピードスケート大会 (平成 28 年 1 月 31 日)

(常設展示)

- ・もりおか啄木・啄木青春館 (通年)
- ・もりおか歴史文化館 (通年)
- ・もりおかん (平成 27 年 10 月～)

③インターネット「楽天市場」バーチャル産業まつり

期 間：平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

出品物：食品・民芸品等 450 アイテム

イ 体験学習事業

盛岡手づくり村が持つもっとも優れた機能の一つである工房の職人の技を活かした「体験学習」を実施し、県内外の観光客に対し、ものづくりの喜びと楽しみ、感動を与えたとともに、盛岡地域の文化や風土、そこから生み出される工芸品への理解を深めて頂いた。また、盛岡広域圏内の教育関係機関向けに盛岡手づくり村の工房や職人を紹介した教育機関並びに、旅行代理店向けリーフレットを製作し配布を行うなど働きかけを行った。

- ・「手づくり教室」は、盛岡広域の歴史と文化に根差した手仕事の技を体験し、職人と直接、接することができ、日本の手仕事を理解する絶好の機会であり、当施設が他の施設を圧倒する特徴的な事業である。次の11の分野で、24コースを設け、通年に渡り実施した。

陶器，藍染，竹細工，わら細工，木工，はたおり，こけし絵付，こま絵付
陶器絵付，木の実細工，冷麺

- ・修学旅行の誘客宣伝と事前学習，来村時の学習向けに，盛岡手づくり村内の工房や職人，さらに，盛岡市教育員会教育長のメッセージを紹介し，パンフレット「ここに，技と心がある」を新たに制作し，教育関係者や旅行代理店に配布，情報提供し，体験学習事業の意義を説明しながら誘客宣伝に努めた。
- ・体験学習の動向の把握と，誘客宣伝活動として，旅行代理店や学校等を対象として，県等が主催する札幌，函館，東京での教育旅行誘致説明会に参加し，旅行代理店や中学校，高等学校関係者に対して誘客を働き掛けた。
- ・修学旅行の事前調査に来村する学校，団体等に対して，これまでの実績や十分な情報を提供し，来村者の確保に努めた。
- ・盛岡広域圏内の小学校の誘客宣伝として，夏季，冬季の長期休業期に対応した「特別体験教室」種目の充実を図るとともに，体験種目，内容を紹介するチラシを広域圏内の全児童に配布した。
- ・「手づくり講座」を企画し，手打ちそばづくり，菓子づくり，ソーセージづくり，キムチづくりなどをテーマに10回開催した。

ウ 展示資料室運営事業

盛岡地域地場産業への理解向上と今後の地場産業振興発展を目的として，全国から訪れる来場者に対して歴史や製造工程，制作者等を資料やパネルで紹介したほか，伝統工芸品の展示紹介を行なった。

- ・展示資料の充実を図り，全国から訪れる観光客に地場産業文化と芸術的工芸品への理解に努めた。
- ・地場産品の歴史や生産技術，生産工程，施設内工房の紹介を通して，盛岡広域圏内の

地場産品の普及宣伝を図った。

2. 人材育成事業

盛岡地域の手づくり産業を担う技術後継者や経営後継者の育成を図るため、広域8市町と連携し、講演会、座談会等を通して技術力の向上や交流の促進を図った。

- ・手仕事に携わる事業者、従業者を対象に、技術承継や経営承継に関する情報の提供や、研修会の開催、個別相談などを関係機関とともに実施した。
- ・有識者や学識経験者を招聘し、手づくり産業の現状や課題、そして課題解決に向けた国の取組などを紹介する研修会などを開催したほか、座談会を開催するなどし、職人相互の交流を促進した。
- ・首都圏や中京圏内の手づくり職人の事例を紹介し、異業種間の交流や地域との交流、新市場の開拓など新たな取り組みへの指針を提供した。

3. 施設賃貸事業（収益事業）

南部鉄器協同組合、レストラン、自動販売機業者及びホームページでのPR等により一般の方々への施設賃貸を行い、センター運営に必要な収益の一部とした。

- ・南部鉄器協同組合へ、事務所・倉庫として貸し付けた。
- ・レストラン大樹へ、食堂・厨房として27年7月31日まで貸し付けた。
- ・(株)サンベンディング盛岡、みちのくコカコーラ(株)へ、自動販売機設置(10台)のため貸し付けた。

4. 販売促進事業（収益事業）

展示即売室内に地域外商品の販売スペースを設置し収益性の高い商品の販売並びにPB商品であるアロニア関連商品の販売を行い収益の拡大を図った。

① 手づくり村「マルシェ」

手づくり村『マルシェ』において、盛岡手づくり村オリジナルアイス「なんじえら?」、「アロニア商品」の普及宣伝に積極的に取組んだ。また、広域市町のスイーツを取り寄せメニューに加えお客様に提供した。

② アロニア関連商品開発事業（販売促進事業）

本年度は盛岡市東部産のアロニア総収穫量690kgを買い取り、アロニア関連商品を開発・製造すると共に、積極的な普及宣伝、販売活動を実施した。

- ・盛岡市東部産アロニアの買い付け 690kg
- ・アロニア製品の製造販売、卸売 ジャム、サプリメント、ジュース等

5. 共用施設維持管理事業（その他の事業）

盛岡手づくり村を構成する、盛岡市、盛岡地域地場産業振興センター、協同組合盛岡手づくり村の三者において共有する施設の維持管理を行った。

- ・植栽・清掃・電気・除雪・曲り家等の維持管理

6. 南部曲り家地場産品 PR 事業（その他の事業）

全国から訪れる観光客に対し、地場産業文化への理解を得ることを目的とし工芸品の製作実演や地域に古くから伝わる伝統行事等を企画実施した。

- ・国内外から来村する団体客や個人に対して、盛岡地域の地場産業を幅広く紹介することを目的として、こけしや、繭細工等の工芸品制作実演を実施し盛岡地域の地場産品を紹介した。
- ・盛岡地域に古くから伝わる民俗・伝統行事などの節句行事等を開催し、民俗・伝統行事等を将来に伝承する活動を行った。

7. 地場産業普及啓発事業（その他の事業）

盛岡地域の地場産業並びに職人が製作する工芸作品や伝統的地場食品等を一般社会に幅広く普及啓発を図ることを目的として、行政関係より下記の事業を受託した。

イ 盛岡特産品ブランド認証委員会運営事業

盛岡ブランド推進の一環として、盛岡市が東京都、沖縄県で開催した「盛岡デー」を支援した。

- ・盛岡デー・イン東京（イオン板橋店）
会期：平成 27 年 7 月 2 日～6 日（5 日間）
- ・いわて盛岡デー・イン沖縄（イオン琉球ライカム店及びイオン琉球各店舗）
会期：平成 27 年 11 月 19 日～23 日（5 日間）

ウ その他の受託事業

（1）新地場産品開発普及支援事業

当財団の新商品開発機能を生かし、盛岡地域の地場産業者と沿岸被災企業との連携を図り新商品の試作開発を行うとともに、県内外で開催される商談会や物産展において商品開発に対する消費者の評価を把握し、商品の完成度を高めた。

また、平成 26 年度事業に開発した新商品及び平成 27 年度事業に開発した新商品について、発表会を報道機関向けに開催し事業の成果を公表した。

○26 年度成果品発表会

- ・新地場産品開発普及支援事業開発商品発表会
会場：盛岡地域地場産業振興センター
日時：平成 27 年 5 月 20 日午前 10:00～
発表商品

①いわて三陸海鮮からむし茶漬

応募事業所：NPO 法人かだっぺし（釜石市）

連携事業所：盛岡アビリティセンター（盛岡市）

②いわて三陸大槌だし

応募事業所：社会福祉法人わらび学園（大槌町）

連携事業所：盛岡アビリティセンター（盛岡市）

③八幡平地熱染裂織バッグ

応募事業所：NPO 法人ハックの家（田野畑村）

連携事業所：(株)八幡平地熱染色研究所（八幡平市）・塩釜馬具店（盛岡市）

○27 年度試作開発テーマ

- ・ 普代昆布を使用した新商品（普代村漁協・普代村）
- ・ 野田村産やまぶどうピューレを使用したソース（(株)のだむら・野田村）
- ・ 杉を使用した木工製品（釜石地方森林組合・釜石市）
- ・ 菓子のおみやげ用パッケージ（NPO 法人ワーカーズコープ・大槌町）
- ・ 田老産海産物を使用した新商品（田老漁協・宮古市）

○27 年度成果品発表会

- ・ 平成 27 年度新地場産品開発普及支援事業開発商品発表会
会場：盛岡地域地場産業振興センター
日時：平成 28 年 3 月 24 日（木）午前 10：00～
発表商品

①野田村産山葡萄を使用した「山ぶどうステーキソース」

応募事業所：(株)のだむら（野田村）

連携事業所：浅沼醤油店（盛岡市）

②「三陸，真崎海鮮粥」

応募事業所：田老町漁業協同組合

連携事業所：盛岡アビリティセンター（盛岡市）

③釜石産杉を使用した「虎舞キーホルダー」

応募事業所：釜石地方森林組合

連携事業所：マルツ工房（紫波町）

(2) 盛岡広域資源新市場開拓事業

盛岡広域内で製造，加工された農林水産物，飲食料品，工芸品などを，認知度を高め，普及促進を図るため，県外の商談会や物産展への出展参加を通して盛岡広域内の豊富で豊かな資源を広く紹介している。

(出展参加先)

- ・ 盛岡広域元気健康フェア

- 会場：いわて銀河プラザ（東京都中央区）
 会期：平成 27 年 7 月 21 日～24 日（4 日間）
 招聘企業：有限会社染屋たきうら（盛岡市）
- ・第 3 回 A・D・O（全日本デパートメントストア開発機構）東北合同商談会
 会場：山形 ホテルキャッスル（山形県山形市）
 会期：平成 27 年 10 月 21 日（1 日間）
 商談対象商品：盛岡市産アロニア果実加工食品など
 - ・東日本連携・創生フォーラム ロコまるしえ
 会場：大宮駅東口銀座通り（埼玉県さいたま市）
 会期：平成 27 年 10 月 31 日（1 日間）
 - ・もりおかの味覚まるごとフェア
 会場：いわて銀河プラザ（東京都中央区）
 会期：平成 27 年 11 月 21 日～27 日（7 日間）
 招聘企業：有限会社染屋たきうら（盛岡市）
 - ・グルメパーク in 仙台
 会場：勾当台公園（宮城県仙台市）
 会期：平成 27 年 11 月 21 日～23 日（3 日間）
 - ・いわて盛岡広域元気フェア
 会場：東京都庁全国観光 PR コーナー（東京都新宿区）
 会期：平成 27 年 11 月 18 日～23 日（6 日間）
 招聘企業：株式会社桜顔酒造（盛岡市）
 - ・うるま市産業まつり
 会場：うるま市役所石川庁舎周辺及石川体育館（沖縄県うるま市）
 会期：平成 27 年 12 月 19 日～20 日（2 日間）
 - ・第 7 回みちのく盛岡の名品と観光展
 会場：東急百貨店札幌店（北海道札幌市）
 会期：平成 28 年 1 月 13 日～20 日（8 日間）
 招聘企業：株式会社粉夢（岩手町）
 - ・第 27 回岩手県の物産展
 会場：八木橋百貨店（埼玉県熊谷市）
 会期：平成 28 年 2 月 10 日～16 日（7 日間）
 招聘企業：株式会社クワン（滝沢市）
 - ・南北海道地区新市場開拓に向けた商談
 日時：平成 28 年 3 月 10 日～11 日（2 日間）
 商談先：函館市観光部・函館商工会議所・函館 KIOSK(株)函館支店
 - ・九州・関西・中京・首都圏地区新市場開拓に向けた商談

日時：平成 28 年 3 月 14 日～18 日（5 日間）

商談先：岩手県産(株)福岡営業所・三越・博多大丸・博多阪急・岩手県産(株)大阪
営業所・名古屋わざもん衆・伝統的工芸品産業振興協会・日本ショッ
ピングセンター協会

8. 交流促進事業

盛岡手づくり村への集客と地域住民との交流を図ることを目的に、季節イベントを開催するとともに、他団体主催のイベントを支援して、地場製品の紹介宣伝を行った。

ア 交流促進事業

- ・盛岡手づくり村スプリングフェスティバル（5月）
- ・盛岡手づくり村チャグチャグ馬コ記念行事（6月）
- ・盛岡手づくり村サマーフェスティバル（8月）
- ・盛岡手づくり村お正月特別営業催事（1月）
- ・盛岡手づくり村ウィンターフェア（2月）
- ・盛岡手づくり村節句行事（2月）
- * 関連業界，団体等の催事利用の推進，支援
- ・盛岡手づくり村工房まつり（9月）

イ 地場産業対策事業

- (1) 盛岡広域・食と工芸フェア 2015 の開催（10月10日～12日）

実施主体

主催：公益財団法人盛岡地域地場産業振興センター

盛岡市，八幡平市，滝沢市，雫石町，葛巻町，岩手町，紫波町，矢巾町

共催：協同組合盛岡手づくり村

後援：報道関係各社

会場：盛岡手づくり村（振興センター・催し物広場・南部曲り家）

内容：盛岡広域食と工芸フェア，お買いあげ感謝抽選会など

- (2) ～集え工芸者たち・輝け盛岡手づくり村に～の開催（9月30日）

実施主体

主催：公益財団法人盛岡地域地場産業振興センター

共催：盛岡広域8市町，（協）盛岡手づくり村，南部鉄器（協），杜の都社

後援：（一財）伝統的工芸品産業振興協会，岩手県教育委員会，盛岡市教育委員会
岩手県商工会連合会，岩手県中小企業団体中央会，盛岡広域8市町商工会議所
及び商工会，振興センター構成業界組合，報道関係等

会場：盛岡手づくり村（振興センター2階多目的ホール・南部曲り家）

内容：第一部 講演会

- ・テーマ 工芸品産業の元気の秘密 ～青山・伝統工芸品の現場から～
- ・会場 盛岡地域地場産業振興センター2階多目的ホール
- ・講師 指田 京子 氏
(一般財団法人・伝統的工芸品産業振興協会 元産地支援部長)

- ・聴講者 115名
- ・展示 手づくり村工芸品紹介コーナー，若手技術後継者作品紹介コーナー

第二部 座談会

- ・テーマ 盛岡手づくり村に生きる～若手後継者たち～
- ・会場 南部曲り家
- ・参加者 阿部 裕之 氏（岩手大学 教育学部教授）
指田 京子 氏（一財）伝統的工芸品産業振興協会 元産地支援部長）
吉田 修 氏（薫山工房）
滝浦 麻理夫（染屋たきうら）
菊池 翔 氏（田中鉦工房）
司会 齋藤 純 氏（街もりおか 編集人）

- ・聴講者 29名

9. 管理運営事業

振興センターは、盛岡地域の地場産業振興及び観光拠点施設として、県内外等からの来場者に利用されている。本年度も、環境整備や施設維持管理，食堂の運営による来場客へのサービス，各施設及び機能の充実を図った他，パンフレットを刷新し観光客誘致を積極的に実施した。その他，通年で来場者へのアンケート調査を実施し，ニーズを把握するなど，事業の円滑な推進に努めた他，小岩井農場・つなぎ温泉・盛岡手づくり村の三施設連携事業「ワイワイ手つなぎプロジェクト」への参画や，周辺施設との連携協調に努めた。

更には盛岡地域の地場産業振興拠点施設，観光施設としての機能並びに振興センター運営の充実を図るとともに，周辺施設との連携やエージェントへのPRなど，ソフトやハードの面で強化を図り，来場者の誘致と利便性の向上に努めた。

(1) 振興センター入場者への宣伝・紹介

センター入場者数・・・ 435,448人（対前年比 100.83%）

- ・入場者等への案内・説明・誘致宣伝活動
- ・観光客，視察来訪客への案内・説明
- ・リーフレットの刷新
- ・台湾語・韓国語・中国語のパンフレットの配付
- ・旅行代理店との提携による入場者の誘致，及びパンフレット等送付

- ・ 外国人客へのパンフレット配布
- ・ マスメディア利用による宣伝・普及活動
- ・ 新聞、雑誌、ラジオ、テレビ等への広告、情報の提供及び取材協力

(2) 理事会・評議員会の開催

開催年月日	場 所	会 議 名	会 議 内 容
平成27年6月5日	盛岡市役所別館 4階401会議室	第1回理事会	平成27年度事業計画 ・ 予算, 平成26年度事業報告・決算等
平成27年6月24日	盛岡市勤労福祉 会館201会議室	第1回評議員会	平成26年度事業報告 ・ 決算, 役員の選任決議他
平成27年7月10日	書面評決	臨時理事会	専務理事選定の同意
平成28年3月9日	地場産業振興セ ンター第1研修室	第2回理事会	平成27年度補正予算平 成28年度事業計画, 予算 , 規程改正等
平成28年3月25日	地場産業振興セ ンター第1研修室	第2回評議員会	平成27年度補正予算平 成28年度事業計画, 予算 等

(3) 盛岡手づくり村来場者2000万人達成記念セレモニーの実施

- ・ 日 時 平成27年7月27日(月) 9時30分
- ・ 内 容 あいさつ(振興センター理事長)
認定証贈呈
記念品贈呈(盛岡手づくり村と広域8市町の地場産品詰め合わせ)
くす玉割り(広域8市町代表者, 協同組合盛岡手づくり村)
- ・ 達成者 庄司 知世 様(宮城県大河原町)

(4) 職員研修の実施

- ・ 6月 2日 イノベーションフェア&セミナー(マイナンバー) 1名
- ・ 7月 9日 いわぎん「地方創生セミナー」 2名
- ・ 9月 1日 初任者研修の実施(新雇用有期契約労働者5名)
- ・ 9月10日 一般研修の実施(クラフト市視察研修8名)
- ・ 9月15日 初任者研修の実施(新雇用有期契約労働者2名)

- ・ 9月30日 一般研修の実施（講演会・座談会への参加10名）
- ・ 10月23日 一般研修の実施（前潟イオン産直「もりおかん」視察研修17名）
- ・ 10月29・30日 南部鉄器商品研修（受講者18名）
- ・ 1月19日 グローカル語り場への参加（ワークショップへの参加1名）

（5）盛岡広域内の情報提供の開始

玄関ロビーを活用し、盛岡広域8市町の観光、行事等を紹介するコーナー「盛岡広域インフォメーション」を新たに設置した。（10月9日～）

（6）総合案内リーフレットの改定

掲載写真や記載内容を改め、平成27年12月に30,000部作成し配布を始めた。

（7）施設内の環境整備の実施

- ・ 9月 施設内ベンチを補修した。
- ・ 11月 催し物広場・中庭等段差補修工事の実施（自前）

（8）パブリシティ活動

（I）テレビ・ラジオ

- ・ 6月3日（水） 5きげんテレビ取材<テレビ岩手>
- ・ 6月24日（水） ピノキオ取材（7月5日放送）<テレビ岩手>
（染屋たきうら「古法木灰水発酵建て」の紹介）
- ・ 8月26日（水） ミヤギテレビ取材
（せんべい体験、みちのく工房、田中つる工房取材、ナンジェラ）
- ・ 9月24日（木） 岩手めんこいテレビ取材「ハチキュン」（10月3日放送）
（工房手づくり体験の紹介）
- ・ 10月2日・6日・8日放送
（NHK 美の壺「鉄瓶～進化する南部鉄器」）
- ・ 平成28年1月6日（水） フジテレビ「バイキング」（1月14日放送）
（アロニアベリーの紹介）
- ・ 1月13日（水） 秋田朝日放送取材「サタナビ」（1月23日放送）
（手づくり村体験紹介）
- ・ 2月22日（月） テレビ岩手（同日放送）
「免税店」スタート

（II）新聞・雑誌関係

- ・ 5月18日（月） 徳島の藍師が講演（岩手日報）
- ・ 5月21日（木） 内陸，沿岸連携し新商品（岩手日報，盛岡タイムス）

- ・ 6月21日（日）藍染や色合い涼やか「伝統の技が輝く職人展」（岩手日報）
- ・ 7月28日（火）手づくり村来場2000万人（岩手日報，盛岡タイムス）
- ・ 8月14日（火）触れて食べて夏の思い出 サマーフェス（岩手日報，盛岡タイムス）
- ・ 9月12日（土）いわて特産品コンクール（盛岡タイムス）
- ・ 10月3日（土）集え工芸社たち・輝け盛岡手づくり村に（岩手日報，盛岡タイムス）
- ・ 11月10日（火）現代の名工として滝浦輝夫さん表彰（岩手日報）
- ・ 1月1日（金）手づくり村に免税店（岩手日報）
- ・ 1月3日（日）たこ作りやお振舞「手づくり村お正月フェア」（盛岡タイムス）
- ・ 1月4日（月）正月感じる工作に挑戦「手づくり村お正月フェア」（岩手日報）
- ・ 1月4日（月）沖縄にみちのく香る「うるま市物産展出展」（盛岡タイムス）
- ・ 1月23日（土）岩手の魅力外国人が発信（岩手日報）
- ・ 1月24日（日）外国人の目で岩手の工芸（盛岡タイムス）
- ・ 2月7日（日）盛岡手づくり村きょうまで冬のフェア（盛岡タイムス）
- ・ 2月11日（木）手づくり村の展示即売室にうるま市PRコーナー（岩手日報）
- ・ 2月23日（火）免税コーナー誘客に弾み（岩手日報，盛岡タイムス）

10. 事業報告の付属明細書

平成27年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

